

平成30年度 志教育全体計画（高等部）

宮城県立山元支援学校

<p>生徒の実態、教師の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等部卒業後は、自分の力を発揮できるところで、働きたいと考えている。また、健康を維持しながらよりよい生活を送りたいと思っている。 ・人とかかわりについてはかかわり方や経験が不足している。 ・豊かな人間関係を築けるよう、コミュニケーションの力を付けて欲しい。 	<p>本校の教育目標</p> <p>児童生徒一人一人の生命への畏敬の精神に基づき、個々の障害の状態及び能力や適正に応じて心身の調和的発達を助長し、健康で心豊かな児童生徒の育成に努める。</p>	<p>保護者や地域の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人たちとかかわり合う中で、円満な会生活が送れることを願っている。 ・家庭や地域、集団や組織の中で、それぞれが役割を持ち、だれかの役に立つ喜びを体験させたいと願っている。
<p>「志教育」の目標</p> <p>人や社会とかかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えたり、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせたりする。</p>		

重点指導事項		
人と『かかわる』	よりよい生き方を『求める』	社会での役割を『はたす』
<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場を考えた挨拶や言葉遣いができる。（敬語等が使える） ・集団の中で友達と協力しながら、ルールや決まりを守って行動することができる。 ・友達と協力しながら生活をより豊かにしようとする態度を養うとともに楽しく余暇を過ごすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会において役割を果たす人間として、自らの在り方生き方について主体的に探求させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団や組織の中で、自分の果たすべき役割の認識を深める。 ・働くことを理解し、公共のために役立つという自覚を持って取り組む。

各教育活動における取組の観点	
日常生活の指導	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい生活習慣を身に付ける。 ・明るいあいさつを自分から行う。 ・場に応じた言葉遣いをする。
生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で活動の計画を立て、計画に沿った活動を楽しむ。 ・社会生活の決まりが分かり、行動できる。 ・日常生活に必要な標識、看板、広告、掲示物を読む。
作業学習	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に目標を立てて取り組む。 ・自分の役割を理解して責任をもって活動する。 ・報告・依頼・質問を自分から行う。 ・周囲の人と円滑なコミュニケーションをとり、人間関係を築く。 ・働くことへの意欲を高める。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい気持ちで適切な行動をする。 ・途中であきらめない強い精神力を持つ。 ・周りの人々と協力、協調して行動する。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路先を調べる。 ・卒業後の生活をイメージする。 ・社会人としての暮らしを考えよう。 ・体験的な活動を通して卒業後の進路や生活の具体的なイメージを持つ。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動の内容、自分の役割を理解して活動に参加する。 ・社会の一員として公共のマナーを身につける。
自立活動	<ul style="list-style-type: none"> ・得意なことを更に伸ばし、自信を持って取り組む。 ○日常生活における適切な健康の管理ができる。 ○保有する感覚を十分活用できるようにする。 ○日常生活に必要な基本動作の向上を図る。 ○コミュニケーションの基本的能力を身に付ける。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・男女のお互いの良さを知って、協力できる。 ・結婚、出産、子育て、避妊など、家庭を築くことについて知る。

各学年の取組内容	
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部卒業の自分についてどうなっていたいか考える。 ・居住地域にある作業施設における職場実習を体験する。 ・職場の人の指示を聞いて活動する。 ・公共交通機関で目的地までスムーズに移動できるようになる。 ・学校の周りの清掃活動に積極的に取り組む。 ・身近な物や料金についておよその値段を知る。 ・給料、年金についての知識を得る。 ・男女の特性を認め、協力して活動する。 ○健康保持のための支援を快く受け入れる。 ○いろいろな活動に落ち着いて取り組み、経験の拡大を図る。 ○いろいろな物に触れ、興味関心を持つ。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部卒業後の進路先、生活について広く知る。 ・図書館、博物館、遊園地などの公共の施設を調べ、実際に外に出て利用する。 ・自分が関心のある就労施設で職場実習を体験する。 ・職場実習先で指導して下さる方を適切なコミュニケーションをとる。 ・学校以外の人たちと関わる奉仕活動に取り組む。 ・給料、年金についての知識を得る。 ・男女の特性を認め、協力して活動する。 ○健康を保持するための活動を理解し、少しでも自分から取り組もうとする。 ○集団での活動に進んで取り組み、かかわりを持つ。 ○興味関心ある物事には、自発的な様子を見せる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部卒業後の社会生活をイメージする。 ・自分が卒業後に働きたい場所で職場実習をする。 ・職場実習先で一緒に働く方たちと楽しく会話する。 ・友達同士で楽しい活動を計画し、安全に楽しい時間を過ごす。 ・自分たちでできる奉仕活動を考え実行する。 ・給料、年金についての知識を得る。 ・収入と支出を考え月々に生活していくことに関心をもつ。 ・男女の特性を認め、協力して活動する。 ○健康を保持するための諸活動を理解し、卒業後も継続して取り組める体勢を整える。 ○いろいろな活動に進んで取り組み、自発的にかかわりを持つ。 ○卒業後豊かな生活が送れるよう、適切なコミュニケーションが図れるようになる。

家族との連携
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や集団内での役割分担をもち、責任をもって日々役割が果たせるようにする。

地域・企業との協働
<ul style="list-style-type: none"> ・職場実習の協力を得て、実社会での働く経験をする。 ・移行支援会議を開き、関係機関との連携を図る。 ○病棟生活移行のためのケース会を実施する。

○印は、あすなる教室の内容を示す。